

平成29年度第2回地域エネルギー交流会 議事メモ

日時：平成29年5月10日（水）12時～13時10分

場所：東広島市役所 302会議室

参加者[敬称省略]：田万里（市）、薦田（市民協働センター）、
小池（エコネット）、青山（エコネット）
市川（広大・工）、友澤（広大・総）、劉（広大・総）

内容

1. 第1回議事録説明 市川

第1回の議事録（別紙）を説明

2. エネルギー関連シンポジウム等情報の紹介 市川

(ア)自動車液体燃料に関するシンポジウム

- ・ 開催日時は6月14日 12:30～16:00
- ・ 場所は広島大学東千田キャンパス
- ・ 関連団体は広自連、マツダ、広島産業振興、県、市、経産など
- ・ 規模は200人程度

(イ)国際シンポジウム

- ・ 開催日時は7月10,11,12日
- ・ 内容は広大にエネルギー専門集団、拠点があることをPRすること
- ・ キーワードはエンジン、エネルギー、バイオマスなど
- ・ 主体は松村先生、市村先生、中島田先生、西田先生（マツダエンジン関連）、その他関係者で30人
- ・ 他にも社会科学のヒトも巻き込む方針
- ・ 大学として研究以外に関われるように、役者を揃えておこうとしている
- ・ 大学として橋渡しの足場の役割を固めようとしている

(ウ)水素関連のシンポジウム

- ・ 開催は年に2-3回、200人規模
- ・ 関連団体は広島市（2部署）、経産局（エネルギー）、中国地方総合研究センター（シンクタンク）、市村先生

3. 話題内容

(ア)水素ステーションについて

- ・ 水素ステーションはトヨタがメインで市は産業振興、環境対策課が担当
- ・ 市民にはいまいちPR出来ていない
- ・ 見ても面白くなく、視察等ができる施設がいい
- ・ 周南市は水素ステーション・工場見学を活発にしている
- ・ 大学でもシンポジウムで宣伝はしたが…

(イ)バイオマスステーションについて 薦田

- ・ 4月14日中国新聞に「間伐材をペレットに 東広島」として、加茂バイオマスステーションが取り上げられた
- ・ 事業計画はアクションプラン、ビジョンの延長線上で、庁内での横の連携もまだ手探り
- ・ 大学の関わりもこれまでの範囲
- ・ 企業から群馬県の事例でガス化炉（ドイツ製）のプレゼンがあったが、東広島で行うとしたら東広島にあったものでなければ

(ウ)北九州視察について 市川

- ・ 現状、予算がまだ動いていないため止まっている
- ・ おそらく、バスは大学が手配する
- ・ エコネットからは一分負担で参加してもらう
- ・ 水素だけでみればうまくいっていない
- ・ 水素を目指す国はたくさんあるが、水素メインに舵を切っていない
- ・ 日本が一番進んでいる、オリンピックと2019年水素国際見本市がある為
- ・ オリンピック後が心配
- ・ 水素技術を世界に売れる理屈はたっており、今の1/5の価格にできる様子

(エ)今後のエコネットひがしひろしまについて

- ・ エコネットはボランティアで経費が出ない(小池)
- ・ もともと、佐藤先生は“地域と大学のエネルギーを考える集まり”としていた(小池)
- ・ エコネットのミッションも具体化していない、市からの期待も不明瞭(薦田)
- ・ 筋としては、市から予算を取ってきて、自立しなければいけない(市川)
- ・ 市民はマスメディアの大々的なものに流される(小池)
- ・ 何か言えるようなエビデンスを持っていたい(小池)
- ・ 退職された市民をアカデミックに引き込みたい(小池)
- ・ 市からエネルギー代の流出を防ぎたい(小池)
- ・ なんでも聞けるシンポジウムを(薦田)
- ・ 地域が潤うように、ときが来たときに動ける準備を(市川)

4. その他

(ア)道の駅の計画について(会議前談) 小池

- ・ 国道2号バイパス、八本松町の七ツ池付近に道の駅建設の計画がある
- ・ トラック協会の意向を組んだ施設になる模様
- ・ 住民からみればただのトラックステーションで迷惑施設の可能性がある
- ・ 環境配慮型の施設を希望する
- ・ 検討委員会として広島大学関係者とあるが、具体的に決まっていない様子
- ・ 市川先生を推薦してみる
- ・ 昼間は見学施設になるようにするのがいい(市川)
- ・ 体験施設がよく、ティーチングプランなども必要(薦田)

5. 次回開催予定

- ・ 日時：6月5日(月) 12:00～
- ・ 場所：広島大学 マーメイドカフェ

以上